

社会資本総合整備計画				社会資本整備総合交付金				令和03年03月10日						
計画の名称	質の高い暮らし 溢れる賑わい しずおか中部の生活・交流拠点形成計画													
計画の期間	平成30年度 ～ 平成31年度（2年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	藤枝市													
計画の目標	・藤枝駅周辺地区は、モータリゼーションの進展による商業機能の郊外化により、歩行者通行量の減少や、空き店舗の増加、地価も下落し続けるなどしたことから、平成20年度から内閣総理大臣認定中心市街地活性化基本計画に基づく事業に着手した。そうした結果、低未利用な大規模市有地の有効活用と、民間活力を積極的に導入した官民連携による事業などにより、居住人口の増加や不動産価値の向上などの成果や効果が発現されている。 ・しかしながら、人口減少・高齢化社会の進展へ対応する持続可能な都市構造コンパクトシティ＋ネットワークへの再編のため、本地区の更なる拠点性の向上が求められていることから、①都市機能集積による生活利便性の向上 ②個性的で魅力ある店舗の出店促進によるエリアの求心力向上 ③街なかの活動・交流機会の創出による昼間の賑わいの向上などを目標に掲げ、「質の高い暮らし 溢れる賑わい しずおか中部の生活・交流拠点」の実現を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		53	A	53	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28		H32
1	・転入増加数（社会流入）を93人／年【H25～H28（平均値）】から100人／年【H30～H32（平均値）】に増加させる。			
	・計画区域外からの転入増加	93人／年	人／年	100人／年
2	・空き店舗数を49件（H28）から40件（H32）に減少させる。			
	・計画区域5商店街内にある空き店舗数	49件	件	40件
3	・昼間の歩行者通行量を、7,356人／日（H29）を7,799人／日（H32）に増加させる。			
	・計画区域内8地点における昼間の歩行者通行量	7356人／日	人／日	7799人／日

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	藤枝市	直接	藤枝市	－	－	都市再生整備計画事業（ 藤枝市中心市街地地区）	A＝1 5 5 h a	藤枝市	■	■				53		－
											小計						53		
											合計						53		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31			
配分額 (a)	4	25			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	4	25			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	4	25			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 質の高い暮らし 溢れる賑わい しずおか中部の生活・交流拠点形成計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

[illegible]

参考図面

計画の名称	質の高い暮らし 溢れる賑わい しずおか中部の生活・交流拠点形成計画		
計画の期間	平成30年度 ～ 平成31年度	(2年間)	交付対象 藤枝市

